

I 事業構想と背景 | 発電所におけるバイオマス燃焼副産物と活用 | フォレスト・シップとフォレスト・リンク構想

◆ 新たなパーパスと事業戦略 | 当社が掲げるシン・コンセプト【フォレスト・シップ | ForestShip】構想解説

この度、我々の林業イノベーション事業全体を更に推進展開する新たなパーパス（存在意義）、今後のマザーブランドとしての最上位コンセプトである「**フォレスト・シップ（ForestShip）**」構想を立ち上げます。

この「**フォレスト・シップ（ForestShip）**」構想は、中山間地を森林資源を起点とした「**一艘の船**」として見立てた、**地域内の価値連携プラットフォーム**であり、**サステナビリティ&イノベーションの象徴**として打ち出していく**動静脈産業連携・地域資源循環型のビジネスモデル**であり、以下の願いを込めています。

- ・もともとは**大阪大学名誉教授の小林昭雄先生**から示唆いただいた概念であり、「**船＝共同体／旅路／統合体**」というメタファーが非常に詩的かつシステム論的で、直感的理解を誘発する。
- ・森林が「**船体**」、地域住民や事業者が「**乗員**」、インフラが「**航行システム**」、そして「**目的地**」が**脱炭素・地方創生**であるとすれば、非常に豊かな構造的比喩となっている。
- ・中山間地域を分断されたエリアの集合ではなく、一体化された生態・経済・文化の船と捉える点で、共感と協働を呼ぶ新視座を提供する。

このように「**フォレスト・シップ（ForestShip）**」構想は、**地域の森林資源を起点に中山間地の価値連携を象徴する力強いメタファー**であり、**地域システムを統合的に見立てる「船」の概念**で、多様な連携を統一構造で語れ、**シン・バイオマス®**同様に、英語圏・日本語圏どちらにも適度に親しみやすく、ブランド化しやすいという利点があります。**森林を中心に地域を一体化する一艘の船のように見立て航行する、それが「フォレスト・シップ（ForestShip）」構想であり、地域内価値連携プラットフォームの象徴として、今後、社会実装するべく挑戦してまいります。**



大阪大学名誉教授 小林昭雄先生
日本森林医学会第2回学術総会
BPTはプラチナ協賛として参加

～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！ インターナルカーボンサーキュレーションシステム『シン・バイオマス®』による地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

I 事業構想と背景 | 発電所におけるバイオマス燃焼副産物と活用 | フォレスト・シップとフォレスト・リンク構想

◆ 新たなパーパスと事業戦略 | 当社が掲げるシン・コンセプト【フォレスト・シップ | ForestShip】構想解説



フォレスト・リンク (ForestLink)

発電事業・林建連携などの
異業種間連携を指し示す
ビジネスモデルを指す
事業コンセプト



フォレスト・ベース (Forest Base)

森林再生実務推進上の
具体的な再造林放棄地を
指し示す実態コンセプト



フォレスト・フォース (ForestForce)

コンセプトを内外に
発信する媒体的手段



～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！ インターナルカーボンサーキュレーションシステム『シン・バイオマス®』による地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

I 事業構想と背景 | 発電所におけるバイオマス燃焼副産物と活用 | フォレスト・シップとフォレスト・リンク構想

<2025/08/25 一般社団法人日本森林医学会 第2回学術総会冊子 収録要旨>

シン・バイオマス®エネルギー事業と林業を融合した地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造を目指して

バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長 北角 強

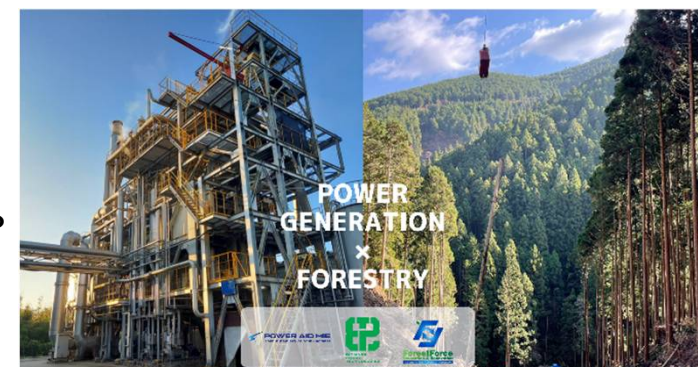
当社は、2015年に創業した木質バイオマス発電と林業を手掛ける事業会社です。経営理念として「バイオマスによる林業イノベーション型地方創生エネルギー事業～資源循環型社会の創造」を掲げ、我が国のグリーン成長戦略の一翼を担うべく、SDGs・ESG時代に相応しいシン・バイオマス®エネルギー事業と林業を融合した地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造を目指して資源循環型経済の構築に貢献しています。

具体的には、FIT（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）を活用した木質バイオマス発電事業において国内屈指の稼働率と運営実績を誇り、新たに、ポストFITを見据えた完全NON-FIT型木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源開発事業「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電事業」により、国民負担に依存しない革新的なビジネスモデルを実現しています。

今後は、4000ha超の広大な森林管理者として森林の持続可能性を確保しながら、中山間地を森林資源を起点とした「一艘の船」「地域内の価値連携プラットフォーム」の象徴として見立てた「フォレスト・シップ（ForestShip）」構想を推進していくことで、2050年カーボンニュートラル実現に向けた新産業の創造を目指して挑戦してまいります。



ともに挑む
ともに実る。



～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！ インターナルカーボンサーキュレーションシステム『シン・バイオマス®』による地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

フォレスト・シップ® (ForestShip) 構想とは、中山間地を森林資源を起点とした「一艘の船」として見立てた、**地域内の新たな価値連携プラットフォーム**であり、**サステナビリティ&イノベーションの象徴**として打ち出す**動静脈産業連携・地域資源循環型のビジネスモデル**です。

